

地方創生拠点整備交付金・地方創生推進交付金事業 効果検証

○地方創生拠点整備交付金事業

NO.	事業の名称	事業内容	事業費（円）	重要業績評価指標（KPI）※単年度分				町の効果検証	外部機関の効果検証	議会の効果検証
				指標	目標値(R2)	実績値(R2)	達成・未達成			
1	中土佐町食鳥処理施設整備計画	本事業は、本町大野見地区の特徴的な一次産業である七面鳥生産の活性化を図る施策として既存の中土佐町食鳥処理施設の増築整備を行うものである。処理能力の向上、作業動線の改善、衛生環境の向上を目的に設計委託業務を行い、増築工事を実施することで安全で安心な食肉の生産を目指す。また、浄化槽を新たに設置し作業時の排水の適切な処理を行い四万十川源流域の自然環境の保全にも寄与する。七面鳥の高付加価値化、効果的な販売戦略の実行により、さらなる販路の拡大を目指し、所得向上及び新たな雇用の創出を図る。	総事業費15,206,400 （うち国費6,631,000）	①大野見七面鳥生産組合における年間売上高（千円）	1,500（千円）	0（千円）	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度においては2度の緊急事態宣言や営業時間短縮要請対応があるなかで、イベント販売以外の販売実績は維持できた。	高知県食肉衛生検査所及び須崎福祉保健所の検査では施設管理状況・検査結果では衛生面での問題は指摘されなかった。	イベント販売に頼った販売形態ではなく、販売ルートの拡大が必要。担当課にも販路ルートについての精査検討をおこなってもらいたい。また農家軒数が増えるよう、生産農家が儲かる仕組みづくりを構築してもらいたいとの意見があった。
			②大野見七面鳥生産組合における年間生産羽数（羽）	150（羽）	207（羽）	達成	農家1軒あたり400羽の飼育ができたため、今後農家数を1軒増やすことで生産羽数を大きく伸ばせる可能性がある。			
			③出荷商品の取引先数（件）	2（件）	33（件）	達成	新規市場開拓支援事業への参加もあり取引先件数は大幅に伸びた。取引の継続につなげる。			